

平成 30 年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題  
(一般選抜前期募集)

専門科目 (選択) 「英語科教育Ⅱ」 (1 / 1)

教科教育専攻 英語教育専修

函館校

問題Ⅰ 第二言語習得の個人差研究では、言語学習での成功を予測すると考えられる特定の能力として、適性(apptitude)の研究が行われてきた。その中でも、1950年代に開発され、最も広範囲に用いられてきた Modern Language Aptitude Test (MLAT) が測定する(1)から(4)の4つの能力について簡単に説明しなさい。

- (1) 音韻符号化能力(phonetic coding ability) (10点)
- (2) 文法的感受性(grammatical sensitivity) (10点)
- (3) 帰納的言語学習能力(inductive language learning ability) (10点)
- (4) ルート記憶能力(root memory capacity) (10点)

問題Ⅱ 1990年代以降の外国語教育法の変遷、そして第二言語習得研究の成果から生まれたタスク中心アプローチ(task-based approach)において、タスクであるための条件である(1)と(2)について説明しなさい。

- (1) タスクとはホリスティック(holistic)な活動である。 (15点)
- (2) タスクはフォーカス・オン・フォーム(focus on form)と融合している。 (15点)

問題Ⅲ 近年、2000年代半ばに Zoltan Dörnyei が概念化した第二言語動機づけ自己システム(L2 motivational self system)をもとに、英語学習者を対象にした動機づけ研究が盛んに行われている。第二言語動機づけ自己システムの3つの要素である(1)から(3)について説明しなさい。また、第二言語自己システムが構築された理由について述べなさい。

- (1) L2 理想自己(ideal L2 self) (10点)
  - (2) L2 義務自己(ought to L2 self) (10点)
  - (3) L2 学習経験(L2 learning experience) (10点)
- 第二言語動機づけ自己システムが構築された理由： (15点)

問題Ⅳ 近年の第二言語習得研究では、人間の発達や社会的側面、さらに、言語教育実践への結びつきを重視し、複雑系(complex systems)のアプローチが用いられている。それに応じて、質的研究法が用いられるようになった。その中でも代表的な(1)と(2)のインタビュー法の特徴について簡単に述べよ。また、インタビュー法の短所を踏まえ考案された刺激提示による再生インタビュー法について説明しなさい。

- (1) 半構造化インタビュー(semi-structured interview) (10点)
- (2) 非構造化インタビュー(unstructured interview) (10点)
- (3) 刺激提示による再生インタビュー(stimulated recall interview) (15点)

平成 30 年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験解答用紙  
(一般選抜前期募集)

専門科目 (選択) 英語科教育Ⅱ (1/4)	教科教育専攻 英語教育専修	函館校	得点	点
	受験番号 ( )			

問題 I

(1) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問題 I

(2) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問題 I

(3) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問題 I

(4) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

平成 30 年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験解答用紙  
(一般選抜前期募集)

専門科目 (選択)

英語科教育Ⅱ (2/4)

教科教育専攻 英語教育専修	函館校
受験番号 (                      )	

得点	点
----	---

問題Ⅱ

(1)

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

問題Ⅱ

(2)

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

平成 30 年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験解答用紙  
(一般選抜前期募集)

専門科目 (選択)

英語科教育Ⅱ (3/4)

教科教育専攻 英語教育専修	函館校	得点	点
受験番号 ( )			

問題Ⅲ

(1) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問題Ⅲ

(2) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問題Ⅲ

(3) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問題Ⅲ

理由: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

平成 30 年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験解答用紙  
(一般選抜前期募集)

専門科目 (選択)

英語科教育Ⅱ (4/4)

教科教育専攻 英語教育専修	函館校
受験番号 (                      )	

得点	点
----	---

問題Ⅳ

(1) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問題Ⅳ

(2) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

問題Ⅳ

(3) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_